

特別講演

安全学の潮流—リスク管理の最前線

# 「昨日の安全が、なぜ今日の不安全になるのか」を科学する。

—レジリエンスエンジニアリングのスプーマー

2019

1/12<sup>土</sup>

15:00 ▶ 16:30

(開場: 14時30分)

日本学会館 第二別館  
地下2階 大会議室

※入場無料・予約不要

講師

荒関 仁志 日本大学大学院  
総合社会情報研究科 教授

講演内容

従来の安全対策やリスク管理が、事故発生後の原因究明に終始している。これは事故の原因は必ず存在し、それを発見・排除することで事故の発生を防止できると考える。それに対して、事故は環境や機能のゆらぎ(変動)に対応できない組織や個人が起こすものと考え(安全と不安全の等価性)、これをレジリエンスエンジニアリングという。本特別講演では、従来の安全対策と、このレジリエンスエンジニアリングの考えを対比して説明し、新しい安全対策やリスク管理の方法を解説する。

講師プロフィール

あらせき・ひとし

日本大学大学院総合社会情報研究科 教授。理学博士。1986年日立ソフトウェアエンジニアリング(株)入社(現、日立ソリューションズ(株))。1991年日本大学短期大学部助手。2002年より日本大学大学院総合社会情報研究科。専門は、人工知能・進化計算など。最近は人工知能技術を利用した安全学や、視覚障がい者歩行支援システムの研究も行なっている。

【最近の安全学に関する研究】

- Statistical Representation of Functional Resonance Analysis Method  
独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA)・FRAM勉強会 2018年11月
- 「リスク管理のためのFRAM(機能共鳴分析手法)の確率表現について」  
電子情報通信学会・安全性研究会 (SSS) 2018年12月

主催



日本大学大学院  
総合社会情報研究科

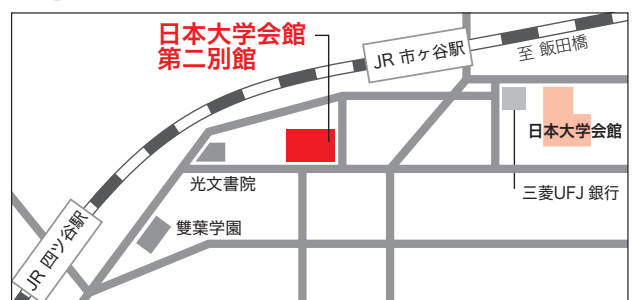


会場  
アクセス

日本学会館 第二別館：東京都千代田区五番町 12-5

●JR・地下鉄：市ヶ谷駅より徒歩5分 / 四ツ谷駅より徒歩7分

問合せ：TEL 03-5275-8277 (独立大学院事務課)



※参加者多数の場合は、千代田区に在住の方が優先になります。